

ふちゅう歴史散歩

Vol. 68

日吉神社本殿を飾る彫刻たち



墓股：犀（一角・背に甲羅） 手扶：雲龍（籠彫り）



墓股：人物と滝 木鼻：菊（籠彫り）

日吉神社本殿

本山町にある日吉神社は、弘仁4年(813)に備後国府の守護神として創建されたと伝えられる歴史ある神社です。本殿は元禄16年(1703)に再建されたもので、府中市指定重要文化財になっています。今回は、本殿を装飾している彫刻についてのご紹介です。

向拝の手扶（組物の一部）は雲龍、本体の木鼻（柱や梁から突き出た端の部分）は菊と牡丹を題材にしたもので、見事に全てが籠彫りとなっています。籠彫りとは、内部をすかし彫りして立体的に仕上げたものです。

墓股（組物の一部）については、向拝は唐獅子、本体は麒麟や猿、犀などの霊獣、虎や兎といった動物の他、二十四孝（中国の故事にもとづく賢人）を題材にしたと考えられる人物などが施されています。

これらの彫刻は江戸や上方の優れた宮大工の作風を持つもので、彫刻からみても、立派な神社本殿と言えるでしょう。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

上下町の発見

高校生編 その28



投稿者（文と写真）

上下高校3年生

秦雪梅さん

（中国からの研修生）

上下に来てそろそろ8か月が過ぎる。時間の経つのは本当に早い。今では上下の町が大好きになった。ここの生活にはすっかり慣れた。上下の地域の方々は、とても親切で困っている時には助けてくれ、私たちの心を温めてくれる。

上下で過ごす残りの時間を利用して街をぶらぶら散策したい。疲れている時、上下の町の風景を思い浮かべると心が癒やされる。

上下と私たちの故郷平湖市の一番の違いは、人の数である。平湖市は約50万人の人口で人や車が多くにぎやかだ。それに比べ上下の町は静かで落ち着いている。緑豊かで、山が延々と並び目に眩い。

平湖市は木は生えているが、山はほとんどない。上下は本当によい町だと思う。町のみんな人情味がある。私は上下に来てから日本のことを深く学び成長することができた。帰国した時、父と母は多分私の成長に驚くだろう。この町は、私にとって「もうひとつの町」ではない。私の「故郷」である。



平成28年12月1日(1219)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。

